

指導者等養成事業

自然体験活動上級指導者（インストラクター）養成講習

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期 日] 令和元年12月3日（火）～12月5日（木） 【2泊3日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家

[参加者] 6名（男性4名、女性2名）

[講師] 古賀倫嗣氏（放送大学熊本学習センター 教授）
赤池直子氏（臨床心理士、スクールカウンセラー）
薄井良文氏（WakuWakuOFFICE あそBe 隊 代表）
伊志嶺朝紀氏（一般社団法人アイ・オー・イー 理事）

[担当職員] 尾中純一（事業推進係長）、尾家義隆（企画指導専門職）

1 趣 旨

専門的な知識と技術をもって自然体験活動の普及や振興に貢献できる自然体験活動上級指導者（インストラクター）の養成を図る。

2 事業展開

研修プログラム

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
12/3 (火)				受付	ガイダンス 1. 学校教育における体験活動 (1.5H)	昼食		2. 対象者理解 (3.0H)		休憩	3. 自然体験活動の安全管理 ① (1.5H)	夕食	3. 自然体験活動の安全管理 ② (1.5H)		入浴
12/4 (水)		朝食		4. 自然体験活動の指導 (3.0H)			5. 自然体験活動の技術 (途中、昼食) (3.0H)		休憩	6. 自然体験活動の特質 (1.5H)	夕食	7. 自然体験活動の企画・運営 ① (1.5H)		入浴	
12/5 (木)		朝食		7. 自然体験活動の企画・運営② (3.0H)	昼食		7. 自然体験活動の企画・運営 ③ (1.5H)	休憩	ガイダンス	認定試験					

		
<p>指導者としての基礎知識（講義）</p>	<p>安全管理講習（演習）</p>	<p>ロープワーク研修（演習）</p>
		
<p>自然体験活動の指導案作成</p>	<p>車椅子利用者を想定した指導</p>	<p>登山演習（大観峰）</p>
		
<p>ロープを使った安全な登山指導</p>	<p>プログラムの企画</p>	<p>企画案の発表とフィードバック</p>

3 成果と課題

(1) 成果

- ・近年、発達障害など個別の配慮を要する児童（対象者）が多い現状の説明や彼らに対する理解、支援の在り方等についての講義を研修の初日に行うことができた。
- ・これにより、受講者が自然体験活動を提供する上で基本となる“対象者への配慮”を念頭に置きながら、各講義や演習に臨むことができた。
- ・特に、今回は“車椅子”を使用している子供がいた場合を想定した指導案の作成を演習課題とすることで、講義で学んだ「対象者理解」「安全管理」の視点を絡めながら演習を行うことができた。

(2) 課題

- ・今回の講習は、初級講習のステップアップとして位置付けており、参加条件も高くなったことで6名の参加に留まった。
- ・より多くの受講者となるよう早い段階での広報に欠けていたため、次回はより早めの広報が課題である。